

車両のドアに支障物を挟んだまま発車・走行した事象について（JR京都線）

5月3日（金）、JR京都線 新大阪～京都駅間にて、車両のドアに支障物を挟んだまま発車・走行した事象が発生しました。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

1 発生日時

2024年5月3日（金） 14時47分頃

2 発生場所

JR京都線 新大阪～京都駅間

3 列車名

下り特急列車「サンダーバード89号」 12両編成

大阪（14：42）発 新大阪（14：46）発 敦賀（16：03）行

ご乗車のお客様：約180名

4 概況

新大阪駅のホーム係員は、別の係員が車いすをご利用のお客様のご乗車のお手伝いをしていたところ、お客様が乗車された後スロープを撤去する前に、車掌に対してお客様の乗降が完了した旨の合図を送りました。このため、当該列車はドアにスロープが挟まったまま新大阪駅を発車しました。

次の停車駅である京都駅で、別の列車の乗務を終えた車掌が異常に気付き、スロープの一部の撤去と車両の確認を行い、運転に支障のないことが確認できたため、京都駅を17分遅れで発車しました。

※現時点で、お客様のお怪我の情報はありません。

※スロープを設置したのは、進行方向左側、前から4両目の後ろ側のドアです。

※新大阪～京都駅間で、当該のドア側がホーム上を通過するのは高槻駅のみです。

5 原因

新大阪駅のホーム係員による、別の係員のお手伝い対応終了の確認が不十分だったためです。

6 対策

駅係員に対して、「お手伝い対応の際は、終了した旨を相互に確認すること」を再徹底するように指導します。